

第4回「米先物取引」に関する情報交換会のご案内

秋分の候、皆様方におかれては、益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。

「米先物」の取引の開始（8月13日(火)から）2ヶ月が経過しました。現物のスポット取引価格が高値（2万3千円前後）を維持していますが、農協の概算金も昨年より60kg当たり4,000円以上の値上げ、小売店頭価格も昨年と比べ1.5倍となっており、今年産米の価格動向は不透明であります。

一方、先物取引価格は、2万円前後で推移しており、「先物取引」のリスクヘッジ機能に期待がかかり、まさに出番となっていますが、取引数量が少ないことが課題となっています。

以上の状況のもとで、「米先物取引」が順調に発展し、平準化、リスクヘッジ機能を発揮するには、取引参加者と数量の拡大が今後の課題となっています。同時に、「先物取引」・「現物市場」の活性化は、米の生産・流通・販売・加工業者の経営発展に寄与し、米産業・水田農業が魅力的な産業となる一助となります。そのため、第3回では農水省から「米の将来価格に関する実務者勉強会とりまとめ」と「米先物取引の意義と期待の報告」をお願いし、さらに米先物取引価格や相対価格の動きや今後の見通しについての意見交換をいたしました。

今回は、米先物市場の活性化のための諸課題（米指数価格と現物価格との関係、その利用方法、取引参加の方法等）の報告と意見交換の場を設定しました。

時節柄、ご多忙のこととは思いますが、是非多くの方々のご参加をお待ちしております

【報告と討論1】

「米指数価格と現物価格との関係と利用方法、先物取引の活用方法、参加の方法等」
(事務局、堂島取引所等)

【課題の提起】

「最近の米市場と先物取引への期待、取引参加への問題点等」
(事務局、参加者からの自由討論)

- 1 日時：令和6年11月7日(木) 15時15分～17時00分
- 2 場所：日本農業研究所会議室（1階）
〒102-0094 千代田区紀尾井町3番29号
- 3 定員：先着50名(会場参加者、リモートも可)
- 4 資料代：2,000円 米産業懇話会参加者は無料
- 5 申込先：<https://forms.gle/pt7vFSjZAUtgnxrL8>
(QRコードからもアクセスできます)
E-mail: info@apcagri.or.jp (竹井、吉田)
Tel: 03-5213-4330 Fax: 03-5213-4331

